

『解体新書』出版250年

若狭歴史博物館リニール10周年記念特別展

小浜藩医

# 杉田玄白の挑戦

2024年  
7月20日(土)～8月18日(日)

会期中無休 9時～17時

※7月20日(土)は10時より開館  
※入館は16時30分まで

杉田玄白木像  
(当館所蔵)



『形影夜話』より  
杉田玄白肖像  
(当館所蔵)



中川淳庵肖像  
(中川家所蔵)



『医聖堂前哲帖』より  
前野良次肖像  
(東京大学医学図書館所蔵)

『解体新書』序図 (当館所蔵)

【観覧料】 一般 400円(320円)／高校生 300円(240円)／小・中学生 200円(160円)

※( )内は有料者20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額

【共催】 NPO法人 杉田玄白・小浜プロジェクト 小浜市

【後援】 福井新聞社 NHK福井放送局 FBC 福井テレビ FM福井  
株式会社 嶺南ケーブルネットワーク 株式会社ケーブルテレビ若狭小浜  
MMネット 一般社団法人 福井県医師会 小浜医師会



福井県立  
若狭歴史博物館

# 杉田玄白の挑戦

小浜藩医

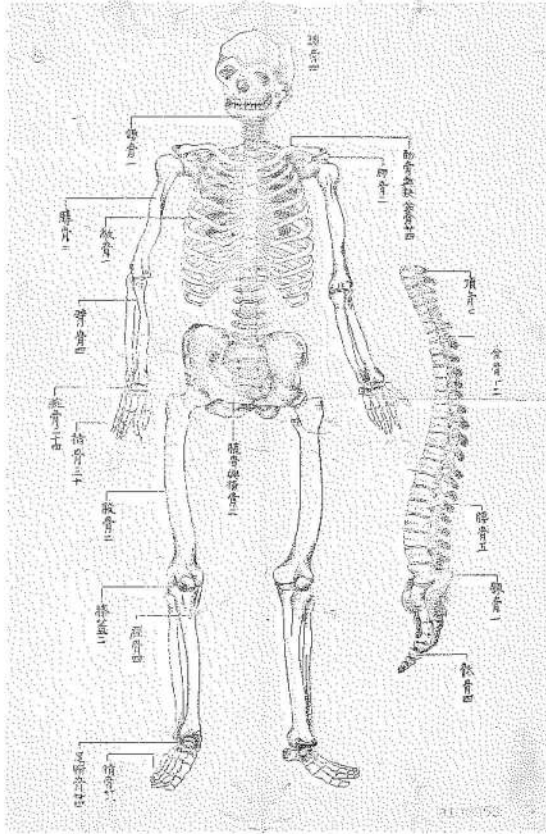
安永三年(一七七四)、杉田玄白を筆頭とする蘭学者たちがオランダからもたらされた医学書『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、『解体新書』と題して出版しました。『解体新書』は当時の国内医学・蘭学に大きな影響を与え、その後の発展に大きく寄与したと評価されています。

『解体新書』出版は杉田玄白を中心に、中川淳庵や前野良沢、桂川甫周らをメンバーとしたチームで進められました。彼らは当時最先端ともいえる知識を持つ医者や蘭学者でしたが、どのようにして集まり、志を同じくし、翻訳という難事業を成し遂げたのでしょうか。そして彼らが持つどのような「つながり」がそれを可能にしたのでしょうか。

令和六年(二〇二四)は『解体新書』出版から二五〇年の節目の年にあたります。このことを記念し、本展では『解体新書』出版を可能にした人々の「つながり」に焦点を当て、『解体新書』が出版されるまでの状況、そしてその後の影響について紹介します。



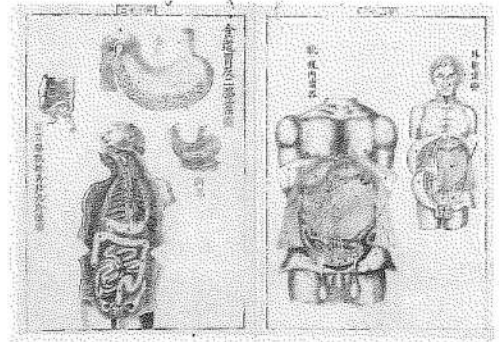
五臓六腑図(国立科学博物館所蔵)



解体約図(東京大学総合図書館所蔵)



Ontleedkundige tafelen(慶應義塾図書館所蔵)



重訂解体新書付図(当館所蔵)

関連イベント

## 記念講演会 『解体新書』は私たちに何をもたらしたか —世の東西の医の歴史から—

【日時】7月28日(日) 14:00 ~ 【講師】坂井建雄 氏(順天堂大学名誉教授)  
 【会場】小浜市働く婦人の家 ※講演会の詳細な情報は主催者にお問い合わせください。  
 【主催】NPO法人 杉田玄白・小浜プロジェクト  
 TEL 090-6274-0020(代表) E-mail isan.saba@gmail.com

## 担当学芸員の展示解説

【日時】一般向け 7月27日(土)、8月11日(日)  
 13:30 ~ (30分程度)  
 小中学生向け 8月3日(土)、4日(日)  
 11:00 ~ (15分程度)  
 ※いずれも参加無料(当日の特別展観覧券が必要)



福井県立

若狭歴史博物館

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2-104  
 TEL: 0770-56-0525



交通のご案内

- 鉄道: JR小浜線・東小浜駅から徒歩約5分
- 車: 舞鶴若狭自動車道・小浜ICから約5分(駐車場無料)

